

平成25年度 事業計画

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1、テーマ「情報基地」としての組織に取り組む

A P A R A 会員企業を取り巻く経済環境は年々厳しい状況におかれ、自動車産業界においても、お客様のニーズや利便性から、業種間の垣根がなくなってきました。

その中で協会はA P A R A 加盟企業が健全なる経営維持の為に、引き続き、将来の為に情報発信とリスク回避について取り組みつつ、業界全体の発展と維持の為に広義な意味で活動を行っていきます。

前提として、カー用品業界はA P A R A 結成により、業界の認知度と各企業における管理、リスク回避への取り組み(法令関連も含む)が、標準化され環境問題や法令順守は定着していますので、今後は業界全体の発展と維持の為に、官公庁への意見交換や、関連団体からの情報収集を強化していくものです。

これにより、さらなる業界発展に役立てたいと考えます。

2、活動の柱

- (1) 業界団体として「楽しく安全な車社会」の為に情報発信を、一般ユーザーに行う。
- (2) 関係省庁・有効団体への協力をを行い、A P A R A 加盟企業と合同で業界全体の問題を解決していく。
- (3) 加盟企業向けの勉強会の定期的な実施を行う。

3、組織の変更

(1) ジュニアボードの解散、運営局を設置

A P A R A 正会員は純粋に商売を営んでいる正会員Aと、タイヤメーカー4社による正会員Bに区分されているが、検討事項が多岐にわたる可能性がある為、従来の総合カー用品店中心で構成される「ジュニアボード」を一旦解散し、新たに「運営局」を設置し門戸を開いていきます。

(2) 情報懇談会の設置

情報を収集・まとめ・内容の検討をするにあたり、業界として取りまとめるものは何か、会員・マスコミ・官庁などのニーズにこたえる為に、懇談会を設置し、会員以外の方を交えながら構築していく。

4、社会貢献活動に取り組む

(1) グリーンリボンドライバー運動に参画する。

ドライバーなら誰もが持っている、運転免許裏に臓器移植の意思表示記入欄があります。しかしその記入率は8.8%と認知度は低いものです。

車社会の一角を担う協会としては、ドライバーの皆さんに知って頂く為の告知を店頭やHPを通じて協力します。

5、エコプロダクツ2013について

平成24年度は初めてAPARAとして展示会に出展し、業界外のユーザーにマスコミに「カー用品店」をPRいたしました。平成25年度も開催日が12月開催という事もあり、普段カー用品にご来店いただけないユーザーに告知をすることを、目的として実施していきます。

6、活動スケジュール

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| (1) 定時総会の開催 | 年1回 (定時総会・・・5月) |
| (2) 理事会 | 年3回 (5月、12月、3月) |
| (3) 納会 | 年1回 (11月) |
| (4) 運営局会議 | 年4回 (6月、9月、12月、3月) |
| (5) 各タスクの開催 (開催日程は進捗によって決定) | |
| a、活性化タスク (AAAL合同) | |
| b、洗車の日タスク (AAAL合同) | |
| c、コンプライアンスタスク (AAAL合同) | |
| d、スポーティングパーツタスク (AAAL合同) | |
| e、情報懇談会 | |
| (6) 関連団体の会議参加 (事務局主体) | |
| a、自動車部品・用品連絡会 | |
| b、点検整備推進協議会 | |
| c、東京万引防止官民合同会議 | |
| d、全国万引防止協議会 | |
| e、不正改造防止推進協議会 | |
| f、アクション2012 | |
| g、自動車税制フォーラム | |
| h、自動車政策会議 | |
| i、経済産業省担当者打合せ | |

j、国土交通省担当者打合せ

k、AAAL各委員会

*今回のポイントはAPARA各タスクをできるだけAAAL、AAAL各委員会と、合同で実施し、製販一体（正会員、賛助会員、AAAL）で業界問題を討議していきます。

7、会員向け研修会実施について

(1) 経済、業界、法令を基軸として、外部団体の研修を会員企業に紹介および会員企業共通事項については、「APARA独自研修会」を、実施します。

(2) 海外視察研修

平成25年は6月にアジア、9月ヨーロッパ、11月北米を、AAALで企画します。モーターショーおよび各国の業界団体、流通視察を取り入れた「視察研修」として実施いたします。

以上